

福島県労連

2023年3月15日 Vol. 273

発行／福島県労働組合総連合

〒960-8061 福島市五月町2-5 一番丁ビル

TEL: 024 (522) 3097 FAX: 024 (522) 3102

Email: fksroren@soleil.ocn.ne.jp<http://www12.plala.or.jp/fksroren/>

「これ以上がまんできない!」



全医労福島支部のストライキのようす

全労連は、3月9日、今年の春闘の最大の山場として、ストライキを含む「全国統一行動」にとりくみました。県内では、福島県医労連に加盟する3つの単組でストライキを実施しました。そのようすを紹介します。

3つの職場でストライキを決行!

日本医労連は3月9日、「すべてのケア労働者の大幅賃上げと人員増」の要求をかねて、全国統一ストライキを実施しました。

とりわけ、全日本国立医療労働組合（全医労）では、組合結成から初めての全国統一ストライキに立ち上がりました。全医労は国民・患者の命を守るため、3年に及ぶコロナ禍のもと、職員の懸命な働きに見合った賃金・労働条件改善を求め交渉してきました。しかし、国立病院機構は一時金支給の回答だけで、全職員の基本給改定等を示していません。

一方で、政府の防衛費財源確保のため、国立病院機構422億円および地域医療推進機構（JCHO）324億円の積立金が納付されようとしています。積立金は本来、老朽化した施設改修や感染症対策の充実、医療を支える人材確保に使

われるべきです。

県内では、全医労福島支部（須賀川市）と、全医労いわき支部（いわき市）の2カ所で始業時から1時間の時限スト（各支部2名の指名スト）を実施し、あわせて宣伝行動も行いました。福島支部のストには県労連、県医労連、岩瀬・須

賀川地方労連の仲間もかけつけました。いわき支部のストには、医労連、いわき市労連の仲間が参加しました。また、午後には県庁で記者会見を行い、医療現場の実態を訴えました。

3・9統一ストには、全労連福島支部（いわき市）でも終業前1時間のストが実施され、病院北口玄関前に80名の組合員が結集しました。（福島県医労連）



（写真上）全医労いわき支部（写真下）全労連福島支部



2023
春 闘

中小企業を支援し、 物価高騰上回る賃上げを！



(左側) 安達和久県商工会議所連
合会常任幹事



(左側) 石本健県商工会連合会専
務理事



(左側) 金成考典県中小企業団体
中央会副会長兼専務理事



(右側) 板橋正治県経営者協会連
合会専務理事兼事務局長

経営者団体に要請・懇談

福島県労連は、3月7日、福島県経営者協会、福島県商工会議所連合会など経営者団体を訪問し、2023年春闘で、物価高騰を上回る賃上げを実現するよう要請しました。

懇談では、①多くの企業で賃上げが必要であると考

えていること、②一方で原材料や電気代などの高騰で収益が圧迫されていること、③社会保険料の減免制度など国の支援を求めていること、④10月から実施予定のインボイス制度は延期してほしいことなどが共通して話されました。



《いわき》2月12日、共同集会のようす。橋の上から聞き入る人の姿も。

「戦争より賃上げを！」

2月12日(日)、いわき市小名浜イオン前で「戦争準備より賃上げを！2・12アクション」を行いました。いわき市内の4つの労働組合(いわき市労連、小名浜地区労、いわき地方労、いわき交通共闘)と3野党(立憲民主党、日本共産党、社会民主党)が主催者となり、多くの市民に呼びかけて行われたものです。

当日は全体で200名を超える参加者があり、それぞれの労組や政党から「全ての労働者の大幅賃上げ、そして最低賃金の大幅引き上げを！」「戦争反対、軍事費拡大より福祉を！」などの力強い訴えがあり、参加者を大いに元気づけました。(いわき市労連)



《郡山》郡山駅前にて署名行動。13人参加



《福島》AXCビル前にて宣伝行動。25名参加

「戦争より賃上げを！」

いわきで共同集会

3・9全国統一行動
のようす (一面のつづき)

3・11から
12年

原発推進方針は撤回を！ ALPS 処理水海洋放出は中止に！

こうした状況にもかかわらず、岸田政権は原発の建て替えや60年を超える運転を可能にする原発推進方針を決定しました。福島原発事故は終わった

です。どまっています。量約2割にとどまっています。

東日本大震災・東京電力福島第一原発事故から12年。事故を起こした原発の廃炉の見通しはたつていません。福島県の発表だけでも2万7千人、事故当時の比較では8万人を超える福島県民が故郷に戻れていません。戻られたみなさんの生活も、通院、買い物、仕事などさまざまな面で苦労が続いています。また農林水産業、観光業など生業の復興に向けた懸命の努力も続けられています。事故前の水準には戻っていません。とりわけ漁業の水揚げ量は約2割にとどまっています。

また、今年の春から夏に開始するALPS処理水の海洋放出も、「関係者の理解なしに処分しない」という漁業者との約束を反故にし、多くの県民の反対や慎重対応を求める声を無視したもので、中止すべきです。

福島県民の復興と

かのように扱い、事故の教訓や福島県民の苦しみを踏みにじるもので、許されるものではありません。ただ

原発ゼロを結んだ運動を広げましょう。



<福島>3月10日 駅前通り AXC 前



<二本松市>3月11日 二本松駅付近



<郡山市>3月11日 郡山駅前

福島を忘れない！原発推進政策を許すな！ 3・4原発ゼロ集会

原発をなくす全国連絡会は、3月4日(土)午後、東京・日比谷野外音楽堂で「福島を忘れない！原発推進政策は許さない！3・4原発ゼロ集会」を開き、500人が参加しました。集会では、伊東達也さん(いわき市民訴訟原告団長・写真)が、福島の現状について報告し、裁判勝利にむけた支援をよびかけました。福島県からは24人が参加し、集会やパレードに元気に参加しました。

いわき市民訴訟・控訴審判決

国の責任を認めない不当判決

東京電力福島第一原発事故で、避難指示が出ていなかったいわき市に居住していた住民1339人が国と東京電力に約13億6000万円の損害賠償と現状回復などを求めた「いわき市民訴訟」の控訴審判決が、3月10日、仙台高裁で言い渡されました。

判決は、国と東京電力の責任を認めた第一審判決を覆し、国の責任を認めない不当判決でした。東京電力に対しては一審判決を上回る支払いを命じました。





まちがいは7つ



〈問題〉上の絵と下の絵を比べると7カ所のまちがいがああります。どこでしょう。印刷のよごれやかすれ、スクリーントーンの濃淡はまちがいに入りません。

応募のしかた

正解者5名に

図書カード当たります！

応募はハガキ（メールも可）に、①クイズの答え、②氏名（ふりがなも）、③住所、④所属労組名、⑤ひとことを必ず（必要な方はペンネームも）書き添えてご応募ください。締め切りは4月15日です。抽選で5名の方に図書カードをプレゼントします。

271号（1月号）の

クイズの答えと当選者

年賀状クイズの答えは①開けまして→明けまして②卯→卯③がんばい→がんばり④2022年→2023年⑤四月町→五月町⑥労働組合→労働組合⑦機長→議長でした。応募者は5名で全員が正解。次の5名の方に図書カードを送ります。

- ◇福厚労鹿島分会 かめさん
- ◇ " 3匹の子ぶたのママさん
- ◇ " こずさん
- ◇福島県医労連 ホエイさん
- ◇会津地方労連 くろねこさん

自動車共済

割安な共済掛金、補償は充実！
等級別割引・割増の継承ができる！

全労連共済 お申し込み・お問い合わせは各共済会へ

すべての労働者の賃上げを！大軍拡ストップ！

4・9全県いっせい行動に 単組・分会でまとまってご参加ください！

福島県労連と各地方労連は、「すべての労働者の賃上げ」や「大軍拡ストップ」のねがいを実現するため、4月9日（日）に「全県いっせい行動」にとりくみます。その際、単組「アピールコンテスト」も実施しますので、みなでご参加ください。

なお、各地域のとりくみは、各地方労連にお問い合わせください。



「4・9全県いっせい行動アピールコンテスト」参加方法

福島県労連または地方労連に加盟する労働組合の方が対象となります。4月9日（日）に各地方労連で設定した街頭宣伝に参加し、必ず「全県いっせい行動」共通のプラスターを入れて写真を撮影してください。単組・分会など組織ごとにご応募ください。県労連幹事会で審査し、結果は機関紙「福島県労連 275号（5月発行）」紙上で発表します。後日、賞状と副賞をお送りします。

〆切は4月15日（土）、県労連までメールでお送りください。

なお、いただいた写真は機関紙の他、県労連公式 Twitter で紹介する場合があります。ご了解くださいますようお願いいたします。

詳細は別紙チラシでご確認ください。

子育て支援策についてのアンケートに ご協力ください！



県労連も加盟する「学校給食費の無料化を求める会」では今、県内でくらす子育て世帯（0歳～学生のいる世帯）を対象に「福島県の子育て支援策についてのアンケート」を実施中。左のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると回答フォームにつながります。会ではアンケートの結果をもとに福島県をはじめ各自治体への要望活動に活用します。アンケートは今月末まで。ぜひご協力ください。

聞いて聞いて 私の思い

みんなの願い

☆電気代8万円：

（福厚労鹿島分会 いのさん）

☆値上げがいろいろと凄いと実感してきた。

（福厚労鹿島分会 かめさん）

☆大幅賃上げで、おサイフにも春よ来い！（福島県医療生協労組 ナマステさん）

☆末娘も4月からは高校生になり、これからの成長が楽しみです。

（福厚労鹿島分会 さくらさん）

☆しのぶ福祉会パワハラ裁判で完全勝利、おめでとうございます。法人は控訴しましたが、支援する側としてはさらにパワーアップして支援しましょう。全国から支援の輪を広げてがんばろう！

（会津地方労連 あかべこさん）